

# 阿波市議会だより

## 第46号

年4回発行  
【平成30年3月1日】

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会  
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1  
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764  
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

### 平成29年第4回

## 阿波市議会定例会の概要

第4回定例会は、11月27日から12月19日までの23日間の会期で開かれました。開会日には藤井市長から、第23回全国女性消防操法大会（秋田県）出場について、阿波市防災フェスタについて等の行政報告と、県選出国会議員及び国土交通省を初め、県への要望活動について報告がありました。

また、平成29年度一般会計補正予算などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問は6日から8日までの3日間にわたって行われ、12人が市政全般について理事者の考えを問い、子育て支援、教育・福祉・建設関係、産業振興等について議論しました。

12日に総務、13日に文教厚生、14日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいすれも可決及び承認し、委員会発議として「道路財特法における補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書」を提出し可決しました。

### 代表質問

谷 美知代 議員  
(阿波みい)



**問** 情報セキュリティ対策として、情報漏えい防止と職員研修にどのように取り組んでいるか。  
**答** 阿波市が所掌する情報システムには、市民の個人情報のみならず、行政運営上重要な情報が多数含まれていることから、各種セキュリティ対策を実施し、高度な安全性の確保に努めている。また、職員教育は大変重要であることから、更なる職員研修の充実、チェック体制の強化により一層のセキュリティ対策を講じていく。

**問** 公共施設の省エネルギー化に向けての取り組みはどのような計画しているか。  
**答** 市が現在進めている公共施設個別管理計画を策定し、老朽化した施設の解体・施設の統廃合・床面積の縮減もひとつの省エネルギー対策、地球温暖化対策

松村 幸治 議員  
(阿波清風会)



**問** 吉野支所周辺の周辺整備による活性化吉野ウオーターパークの改修について、現在の状況及び今後の運営は。  
**答** 例年約7,000人が利用し賑わっているプールサイドの床面等施設の劣化が進んでいるので、早期にリフレッシュの為に改修工事を実施したい。

**問** 阿波町の旧庁舎を利用しての子育て支援センターの開設について、子どもの一時預かり的な事を考えてはどうか。  
**答** 保育士の確保に大変苦慮しており、市外の方にも対応した新たな施設に対しての保育士の常時配置は難しい。

森本 節弘 議員  
(志政クラブ)



**問** 阿波市水道事業について、組織・体制・機能強化をどのように考えているか。  
**答** 企画・経営戦略や職員配置に重点を置きながら、阿波市全体の機構改革の中でしっかりとした体制づくりを図り、安全でおいしい水を安定供給するとともに、災害に強い水道施設の構築に取り組みたい。

**問** 徳島自動車道四車線化早期実現に向けた政策提言と、阿波スマートインターチェンジの設置について。  
**答** 徳島県議会徳島自動車道整備促進議員連盟の皆様と、徳島自動車道四車線化促進期成同盟会が連携し、国に対し早期実現の提言活動を重ねるとともに、阿波スマートインターチェンジ設置に向けた支援についてお願いし、今後も国、県、西日本高速道路(株)と連携を図りながら、協議検討を進め、整備実現に向け努力していく。

**問** 合併特例債の発行額は後どのくらい見込んでいますか。また発行期限延長の考えは。  
**答** 合併特例債が本市の有効な財源である以上、活用期限の延長においても首長会と連携を図りながら要望活動を行い、真に必要な施策に活用していきたい。

### 一般質問

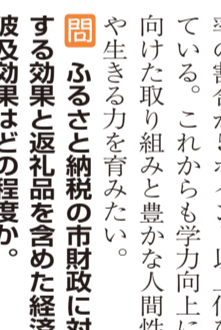
吉田 稔 議員  
(阿波清風会)



**問** 50年近く続いた米の生産調整(減反政策)が平成30年度より廃止されるが、阿波市の対応はどうされるのか。  
**答** 主食用米や飼料用米等の需給見通しの情報を農家に提示したいと考えている。西南暖地の気候を生かした収益性の高い作物の振興をしたい。

**問** 阿波市では早くから小学校での英語活動に取り組み、英語講師や学力推進講師を市単独で採用し、夏期休暇も短縮して学力向上に努めているが成果の程

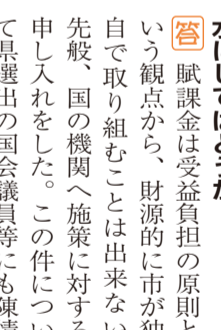
藤川 豊治 議員  
(無所属)



**問** 全国学力調査の結果では、同じ学年で比較すると平均正答率の割合が5ポイント以上伸びている。これからも学力向上に向けた取り組みと豊かな人間性や生きる力を育みたい。  
**問** ふるさと納税の市財政に対する効果と返礼品を含めた経済波及効果はどの程度か。  
**答** 平成28年度の本市へのふるさと納税額は5,670万円、返礼品代金は1,760万円である。地元への経済波及効果は返礼品代の2倍前後になると予想される。今後もインターネットの窓口や、返礼品目をふやす等積極的に取り組む。

**問** 中山間地の農家は高い賦課金に苦しんでいる。北岸用水を香川用水のように安い多目的用水にしたい。  
**答** 賦課金は受益負担の原則という観点から、財源的に市が独自で取り組むことは出来ない。先般、国の機関へ施策に対する申し入れをした。この件について県選出の国会議員等にも陳情していく。

川人 敏男 議員  
(正論を主張する会)



**問** 中央広域環境センターの改築に関して、地元との協定書を動員し建設候補地の絞り込みをどのように進めるのか。また工期が2年も遅れているが建設スケジュールはどうなっているか。10年以上の工期を要するが、専門家等の確保を含めて推進体制をどのように考えているか。  
**答** 幹事会、課長会で協議を開始した。中央広域環境施設組合議会では、現状・問題点の共通認識の段階である。

**問** 土柱観光の現状は、入口の案内板は不十分、休憩施設・雨宿りの場所等もない。これらの機能を備えた観光案内所の設置を提案する。  
**答** 観光協会と連携しながら、設置に向けて検討する。

**問** 観光客が土柱に滞在するのは15分程度。観光の目的は土産を買ってもらう、食事を食べてもらう、泊まってもらう、これらにより地域振興を図る。土柱を中心に点から面への整備が必要。土柱の湯の奥にオートキャンプ場、花木園の整備をしてはどうか。  
**答** 周辺地域の現状、今後の整備方針を整理しながら、前向きに検討する。

榎原 伸 議員  
(阿波清風会)



**問** 三木武夫元首相生家を、未来に残す学び、発信、交流の場としてはどうか。  
**答** 移住者と地域住民交流の場だけでなく、元首相の功績を伝える場となるよう、多方面から検討する。

**問** 英語教科化に伴う英語嫌いを出さない取り組み、教員の負担軽減への取り組みは。  
**答** 平成18年度から各小学校に英語指導講師を配置、全学年で英語活動を実施しており、スムーズに教科化に進むことが出来る。今後も英語に堪能な英語指導講師を各小学校に配置し、ALTとも連携し、教員の負担軽減を図っていく。

**問** 中山間地農業への取り組みについて。  
**答** 国・県の補助事業「中山間地域等直接支払交付金事業」を活用し、農業生産の維持を通じて水源涵養、景観などの多面的機能の確保や地域の活性化を図っている。昨年度の交付実績は、23集落、257ヘクタール、

松永 渉 議員  
(阿波清風会)



約4,000万円となっている。

**問** 阿波市は、税金の免除・交付税措置を行政経営上どう考えているか。  
**答** 費用対効果に留意し、住民の福祉の増進に努める。

**問** 行政改革における民間活力の内部活用及び財政効果額の向上にどう取り組むか。  
**答** 事務事業評価や人事評価などの制度を導入し、行政コストの縮減に取り組んでいる。

**問** 阿波市社会福祉協議会へ阿波市が給料を支給し職員を派遣している目的は何か、財源はいくらか、他の公益法人に対する公正公平性は確保されているのか。  
**答** 目的は公共の福祉増進に資すること、財源がいくらかは個人所得なので答弁はできない。公正公平性については法律や条例に基づき派遣している。

**問** 目的に向けて福祉向上策の計画はどうなっているのか。  
**答** 計画は策定していない。

**問** 公正公平性が担保されているならば、他の公益法人等の申請があれば派遣されるか。  
**答** 他の法人に対しての派遣は現在考えていない。

◆ 今回の職員派遣については、福祉的にも法的にも疑問に思うことが多いので、次回改めて理事者の見解を聞きたい。



榎原 賢二 議員  
(阿波みらい)



**問** 阿波病院の医療体制を含む現状と、吉野川医療センターとの連携、今後の市の取り組み方針について。

**答** 阿波病院においては、急性期治療を経過し病状が安定した患者に対して在宅や介護施設への復帰支援に向けた治療にあたった。吉野川医療センターは全て急性期病床であり、急性期の治療を終えた患者の回復治療にあたる同じJA徳島厚生連の阿波病院との連携治療は大変重要となる為、関係機関と協議し、支援のあり方を検討する。

**問** 台風時の麓谷樋門の排水能力向上について。

**答** 今回の事態を重く受けとめ、早期に国土交通省及びポンプ車配備を請け負っている建設業者市において、改善について対策協議を行い、次回の配備が万全に取り組めるよう体制整備を進めた。

**問** 阿波市内の堤外に放出する樋門及び排水機場に音声告知機の設置についての要望。

**答** 阿波市には樋門と排水機場合わせて24の施設がある。音声告知機設置の課題について、災害時の市民の安全・安心の観点から早急に国土交通省、関係各機関と協議し、早期設置に向けて迅速な対応を行っていききたい。

木村 松雄 議員  
(志政クラブ)



**問** 本市の人口減少対策について、市長独自の人口増に繋がる施策は。

**答** 子どもを抱える保護者の経済的負担を軽減することを目的とした阿波市独自の施策として平成29年10月よりあわつ子はぐくみ医療制度の対象年齢を18歳の誕生日を迎えた年度末まで拡充を行った。又、児童が病気の際に保護者の就労等により自宅での保育が困難な場合、一時的に保育を行う病児・病後児保育事業の施設を、本市二カ所目として平成29年8月より土成町の大野病院に「こもれび」を開設している。子どもを抱え、保護者の方が生み育てやすい環境を整え、未来の阿波市を担う子どもたちの育成を図っていく。

**問** 空家対策について、本市においても空家が増えているが市としての対策は。

**答** 空家対策を重要施策の一つと捉え、全庁挙げて取り組み適正管理に関する条例を今年度中に策定し、4月から施行・運用する。また、空家の所在地及び所有者を調査しシステム入力していく。

**問** 水道施設について、土成町への送水管理工事の進捗状況。

**答** この事業は市場高区配水池と土成低区配水池を結ぶもので、総延長6,145メートルあり、29年度末には71%の埋設が完了する。残りの29%については30年度から3カ年で計画している。それが完成すれば土成町の約40%が賄える。残りの60%については平成33年度から5カ年で計画している。

笠井 一司 議員  
(志政クラブ)



**問** 市道の維持管理について、道路舗装が各所で老朽化しており改修が急がれる。新年度予算において増額するなど積極的に対応してほしい。

**答** 要望のあった舗装修繕路線については、優先順位を決め予算要求を行っている。

**問** 旧阿波町庁舎は著名な建築家増田友也氏の設計で価値のある建築物となっている。改修にあたっては、できる限り増田氏の思想や意匠などの特徴を残し、文化的資産・観光資源として活かし活用すべきだ。

**答** 今後の設計の中で、増田氏の建築思想をできる限り残せるよう検討したい。

**問** 地域公共交通の活性化について、将来的な課題として公共交通機関の自動運転バスや、個人の自動運転による地域交通の整備を検討してはどうか。

**答** 安全性や信頼性の確保や今後整理すべき制度等があることから、国の取り組みを注視し県と連携して情報収集に努める。

**問** 認定こども園保育料の無料化について、国は保育料の無料化を打ち出しているが、阿波市も認定こども園の改革による経費削減を還元することで、保育料の無料化をより積極的に進めてはどうか。

**答** 今は保育士確保のための条件や環境改善に努めており、今後、一定の対応策を整えたいうえで、無償化の実施時期を検討することが望ましいと考えている。

稲岡 正一 議員  
(阿波みらい)



**問** 金清問題について今後どのように整備して進めるのか。

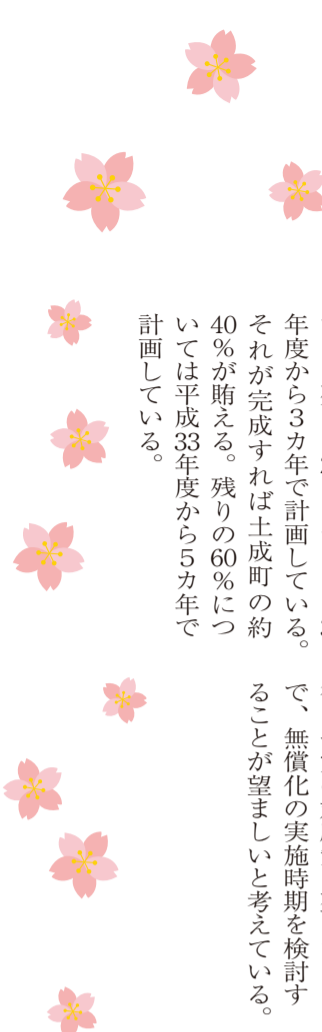
**答** 健康づくりをする方や家族連れの方、サイクリングやドローンを楽しむ方、また観光客など子どもから大人まで訪れやすい公園として整備する計画。

**問** 末古田線の県道から南進について、その後どうなっているか。

**答** 県道香美吉野線の整備促進について要望を行い、要望路線接続部周辺の整備計画が示された段階において、要望路線の計画ルート案、計画幅員等の概略検討を進めていきたい。

**問** 市長は、阿波市が人口減少時代に向かって急激な変化をしていく将来をどのように考えているか。

**答** 2040年には人口が約2・5万人強となりますが、それら減少の抑止策の推進を最優先に考えている。高齢化率も今より約8%程度上昇する想定と今の行政サービスの水準を維持することが今の状況からは大変苦しいと考えられる。



## 平成29年第4回 阿波市議会定例会 議案及び議決結果一覧表 (11月27日～12月19日)

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第83号	平成29年度阿波市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第84号	平成29年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第85号	阿波市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第86号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	原案可決
議案第87号	阿波市立学校施設使用条例の一部改正について	原案可決
議案第88号	阿波市交流防災拠点施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第89号	阿波市ケーブルネットワーク施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第90号	吉野地域福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第91号	市場老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第92号	市場高齢者共同生活施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第93号	土成保健センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第94号	阿波健康福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第95号	土柱休養村センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第96号	次期通信サービス提供に伴うIP音声告知サービス設備構築工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第97号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度阿波市一般会計補正予算(第4号)について)	承認
議案第98号	平成29年度阿波市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
議案第99号	阿波市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第100号	市長等の給与と条例の一部改正について	原案可決
議案第101号	阿波市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
発委第2号	道路財法における補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書について	原案可決

**議会だより 編集雑感**

少子高齢化の流れに一向に歯止めがかからない本市の65歳以上の人口比率は34%。15歳以上65歳未満の生産年齢人口の比率は55%。支えられる側に対して支える側の負担は増すばかりだ。

歳入は確実に減少。歳出は福祉・介護等が確実にふえてくる。地方自治体には、黒船がやってくるようなものだ。

本市では来る3月25日に市政をチェックする市議会議員の投票日を迎える。市民は本市の将来を、どんな候補者に託すのか。

(川人敏男)

## 活動状況報告

- 平成29年12月6日 第4回阿波市議会定例会本会議 (代表・一般質問)
- 7日 (一般質問)
- 8日 (一般質問)
- 11日 観光開発特別委員会  
公営施設(事業)民営化特別委員会
- 12日 総務常任委員会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 14日 産業建設常任委員会  
全員協議会
- 19日 第4回阿波市議会定例会本会議 (閉会)
- 平成30年1月30日 議会運営委員会
- 2月6日 第1回阿波市議会定例会本会議 (閉会)
- 15日 (代表・一般質問)
- 16日 (一般質問)
- 21日 総務常任委員会
- 22日 文教厚生常任委員会
- 23日 産業建設常任委員会
- 26日 全員協議会
- 27日 第1回阿波市議会定例会本会議 (閉会)

## 議会を傍聴してみませんか

議会の本会議は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。事前の予約はいりません。傍聴を希望される方は、当日、市役所本庁3階にお越しください。37席の傍聴席と、車いすのまま傍聴いただけるスペースがあります。

傍聴席入口で「阿波市議会傍聴人名簿」に住所、氏名を記入後、ご入場ください。

また、市役所本庁1階・市民情報スペースの大型テレビで議場内を生中継しています。どうぞお気軽にお越しください。

